

はじめに

本書は、いつ起こるかもしれない様々な災害に対し、事前に備えることを目的として作成しました。

予測不可能な災害の被害を最小限にとどめるため、日ごろから内容に目を通し理解を深めていきましょう。また、本書の特徴として、災害時に持ち運びができるように冊子型としています。ヒモなどをつけるし身近に置き、緊急時に持ち出してお活用ください。

総合防災ハザードマップの活用方法について

- ①住んでいる場所と予想される危険箇所を地図上で確認しましょう
- ②避難場所を確認しましょう
- ③避難経路を考えてみましょう
- ④家族や周辺住民と情報を共有しましょう

家族みんなで防災会議

災害は家族が一緒にいるときに起こるとは限りません。いざというときに慌てず行動できるよう、本書を活用いただき、家族で普段から話し合っておきましょう。

- 家の中で一番安全な場所
- 家族一人ひとりの役割分担 (安否確認、非常時持出品・備蓄品のチェック)
- 避難場所、避難経路 (自宅と避難場所を確認)
- 自宅付近の災害リスク、危険箇所の確認
- 災害が起こった時の身の守り方
- 家族が離ればなれでいたときの連絡手段、集合場所
- 要配慮者 (乳幼児、高齢者、障がい者、妊産婦など) のサポートと避難方法

1	はじめに
2	5段階の警戒レベル
3	避難行動判定フロー
4	マイ・タイムライン
5	災害時の情報伝達
6	自宅にとどまった場合の備え
7	避難の方法
8	感染症対策
9	ハザードマップの見方
10	避難所一覧・全体索引図
11~22	詳細図1~6
23・24	風水害対策
25・26	土砂災害対策
27	地震対策
28	揺れやすさマップ
29	火山対策(浅間山)
30	小~中・大規模の噴火
31	火災対策
32	竜巻・雷対策
33	雪害対策
34	非常時持出品・備蓄品
裏表紙	わが家の「緊急・救急情報」防災メモ

5段階の警戒レベル

避難情報等(警戒レベル)			河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)		
警戒レベル状況	住民がとるべき行動	避難情報等	防災気象情報(警戒レベル相当情報)		
			洪水の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)	
5 災害発生 又は切迫	命の危険 直ちに 安全確保!	緊急 安全確保 ※1	5 相当	氾濫発生 情報	大雨特別 警報 (土砂災害)
〜警戒レベル4までに必ず避難!〜					
4 災害の おそれ 高い	危険な場所 から全員避難	避難指示 ※2	4 相当	氾濫危険 情報	土砂災害 警戒情報
3 災害の おそれ あり	危険な場所から 高齢者等は避難 ●避難に時間のかかる要配慮者(高齢者・障がい者・乳幼児等)とその支援者は避難 ●高齢者等以外の人も危険を感じたら自主的に避難	高齢者等 避難 ※3	3 相当	氾濫警戒 情報 洪水警報	大雨警報
2 気象状況 悪化	自らの避難 行動を確認	大雨注意報 洪水注意報	2 相当	氾濫注意 情報	—
1 今後気象 状況悪化の おそれ	災害への心構えを 高めましょう	早期注意 情報	1 相当	—	—

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。
 ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることとなります。
 ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
警戒レベル5 緊急安全確保の発令を待ってはいけません!

避難勧告は廃止されました。これからは、**警戒レベル4避難指示**で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。